

平成 26 年度第 1 回  
教育遺産世界遺産登録推進協議会  
資料

## 報告第 1 号

# 平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について

平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業について，次のとおり報告する。

# 平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告

## 1 協議会の開催等

年月日	会議名	議題等
平成 25 年 5 月 7 日	幹事会	報告第 1 号 平成 24 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について 認定第 1 号 平成 24 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について 議案第 1 号 教育遺産世界遺産登録推進協議会規約の一部を改正する規約について 議案第 2 号 平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算について (於：茨城県東京事務所会議室)
平成 25 年 5 月 21 日	協議会会議	報告第 1 号 平成 24 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について 認定第 1 号 平成 24 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について 議案第 1 号 教育遺産世界遺産登録推進協議会規約の一部を改正する規約について 議案第 2 号 教育遺産世界遺産登録推進協議会の財務に関する規程の一部を改正する規程について 議案第 3 号 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム実行委員会規程について 議案第 4 号 平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算について (於：(財)都道府県会館 402 号室)
平成 25 年 5 月 21 日	第 1 回教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム実行委員会	議案第 1 号 委員長及び副委員長の選出について 議案第 2 号 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム実行委員会事業実施計画・事業収支予算について (於：(財)都道府県会館 402 号室)
平成 25 年 6 月 11 日	第 1 回専門部会 B	1 今年度の事業計画等について 2 これまでの意見等を受けての修正案について (於：(財)都道府県会館 408 号室)

年月日	会議名	議題等
平成 25 年 6 月 11 日	事務連絡会議	1 世界遺産登録推進国際シンポジウム 2013 について 2 市民団体について 3 来年度の取組について (於：(財)都道府県会館 408 号室)
平成 25 年 7 月 29 日	第 1 回専門部会 A	1 今後の検討課題について 2 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウムの開催について (於：東京国際フォーラム G 棟 608 会議室)
平成 25 年 7 月 29 日	事務連絡会議	1 平成 26 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算（案）について 2 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウムの開催について 3 今年度の追加事業（案）について (於：東京国際フォーラム G 棟 608 会議室)
平成 25 年 7 月 29 日	事務連絡会議 (※岡山県備前市事務局を含む。)	1 世界遺産登録に向けた取組の現況と今後の進め方等について (於：東京国際フォーラム G 棟 608 会議室)
平成 25 年 8 月 29 日	文化庁との意見交換会	1 教育遺産世界遺産登録推進協議会の概要について 2 世界遺産暫定一覧表記載資産候補検討状況中間報告 (於：文化庁内会議室)
平成 25 年 8 月 30 日	事務連絡会議	1 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウムの開催について 2 今年度の事業の進め方（案）について 3 平成 26 年度事業計画・予算（案）について (於：(財)都道府県会館 405 号室)
平成 25 年 10 月 6 日	教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム 2013	1 基調講演 ・「国境を越える学習文化：アメリカの学校テストの起源について William J. Reese 氏」 ・「東アジアの学問土壌と日本的な学問開花 深谷克己氏」 2 パネルディスカッション (於：足利市民プラザ文化ホール)

年月日	会議名	議題等
平成 25 年 10 月 13 日	第 2 回専門部会 A	1 評価基準への適合性について 2 来年度の国際シンポジウムについて (於：東京国際フォーラム G 棟 403 会議室)
平成 26 年 1 月 25 日	第 1 回専門部会 C	1 検討状況中間報告について (於：東京国際フォーラム G 棟 503 会議室)
平成 26 年 3 月 26 日	第 2 回教育遺産 世界遺産登録推 進国際シンポジ ウム実行委員会	議案第 1 号 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジ ウム 2013「近世日本の教育遺産」の実施結 果について 議案第 2 号 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジ ウム実行委員会事業収支決算について (於：(財)都道府県会館 407 号室)

## 2 調査研究事業

昨年度に引き続き検討状況報告書（素案）の内容に厚みを加え、熟度を高めるため、専門部会や国際シンポジウムの開催等を通して、登録推進戦略、国内外の教育遺産の評価、資産の保存管理方策に関する調査研究を行った。

※現在の主な課題

- (1) 教育遺産の価値付けの整理
- (2) 過不足のない構成資産の選定
  - ・岡山県備前市の参画に向けた協議・調整
  - ・国内外の資産との比較分析による追加資産の検討
- (3) 海外の専門家による国際的な評価の確認

## 3 普及啓発事業

- ・協議会ホームページに多言語化の機能を追加した。
- ・親子向けパンフレットを作成し、3市の小中学生に配付した。

## 認定第 1 号

### 平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について

平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について、次のとおり報告し、認定に付するものである。

## 歳入歳出決算書

### 歳 入

(単位：円)

款	項	目	節	予算現額	収入済額	差引額	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,660,000	3,660,000	0	水戸市 1,605,000 足利市 1,182,000 日田市 873,000
2 繰越金	2 繰越金	2 繰越金	2 繰越金	417,000	417,868	868	
3 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	1,000	298	△702	預金利子
合 計				4,078,000	4,078,166	166	

### 歳 出

(単位：円)

款	項	目	節	予算現額	支出済額	不用額	備 考
1 運営費	1 運営費	1 事業費	08 報償費	630,000	290,000	340,000	・謝礼
			09 旅費	1,036,500	521,090	515,410	・費用弁償
			11 需用費	96,000	61,458	34,542	・協議会，専門部会賄料等
			13 委託料	850,500	805,455	45,045	・ホームページ自動翻訳システム管理業務委託，親子向けパンフレット作成業務委託
			14 使用料及び賃借料	329,000	280,869	48,131	・会場使用料，ホームページサーバー賃借料
			19 負担金補助及び交付金	822,000	822,000	0	・国際シンポジウム開催事業補助金
		2 事務費	11 需用費	246,000	131,998	114,002	・事務用品，事務連絡会議賄料等
		12 役務費	67,000	55,354	11,646	・事務用切手，振込手数料	
2 予備費	1 予備費	1 予備費	1 予備費	1,000	0	1,000	
合 計				4,078,000	2,968,224	1,109,776	

歳入・歳出の差引 1,109,942 円については，次年度に繰り越す。


写

平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算監査書

平成 25 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会歳入歳出決算について、関係帳簿、証拠書類に基づいて監査を実施したところ、いずれも適正に処理されていることを認めます。


平成 26 年 7 月 17 日

足利市会計管理者

萩原正弘 

平成 26 年 7 月 28 日

日田市会計管理者

樋口 虎喜 



## 認定第2号

### 平成26年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算について

平成26年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算を別紙のとおり専決処分したので、報告し、認定に付するものである。

## 平成 26 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画

教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画は、次に定めるところによる。

### 1 調査研究事業

内容	実施予定月	備考
(1) 専門部会の開催 ア 専門部会 A（登録推進戦略） イ 専門部会 B（国内外の教育遺産の評価） ウ 専門部会 A・B（国内外の教育遺産の評価）・C（資産の保存管理方策）合同会議	8 月 10 月 12 月	検討状況報告書を作成
(2) 文化庁との意見交換会	11月（於：都内）	
(3) 日本イコモス国内委員会委員との意見交換	1 月（於：都内） ※専門部会 A，専門部会 B・専門部会 C の座長	

### 2 普及啓発事業

内容	実施予定月	備考
(1) 国際シンポジウム関係 ア 国際シンポジウム実行委員会 ※3市から五味先生，橋本先生，後藤先生が委員として参画 イ 国際シンポジウムの開催 ※パネリスト：樺山紘一先生（東京大学名誉教授・印刷博物館館長），大石先生，橋本先生 コメンテーター：ロバート キャンベル氏（東京大学大学院教授），藤原惠洋氏（九州大学教授・世界文化遺産特別委員会委員） コーディネーター：後藤先生	8 月，2 月（於：都内）  11 月 7 日，8 日（於：日田市）	実施報告書を刊行
(2) その他 ア 協議会ホームページの運営 イ 普及啓発物品の作成		

### 3 その他

内容	実施予定月	備考
(1) 協議会	10月（於：都内）	
(2) 幹事会	7月30日（於：都内）	
(3) 事務連絡会議	8月，9月，12月，1月（於：都内）	
(4) 文化庁への要望活動（暫定リストへの追加補充・日本遺産として認定等）	2月	

#### 【参考】平成26年度事業内容

年月日	会議名	議題等
平成26年 7月30日	幹事会	1 平成25年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業報告について 2 平成25年度教育遺産世界遺産登録推進協議会決算について 3 平成26年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算（案）について （於：（公財）都道府県会館408号室）
平成26年 8月27日	事務連絡会議	1 平成27年度教育遺産世界遺産登録推進協議会事業計画・予算（案）について 2 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム2014について （於：東京国際フォーラムG棟509会議室）
平成26年 8月27日	事務連絡会議 （※岡山県備前市事務局を含む。）	1 世界遺産登録に向けた取組の現況と今後の進め方等について （於：東京国際フォーラム G棟509会議室）
平成26年 8月27日	第1回教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム実行委員会	1 委員長及び副委員長の選出について 2 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム実行委員会事業計画・事業収支予算について （於：東京国際フォーラムG棟509号室）
平成26年 8月27日	第1回専門部会A	1 世界遺産登録に向けた今後の進め方等について （於：東京国際フォーラム G棟508会議室）
平成26年 10月14日	事務連絡会議	1 世界遺産登録に向けた今後の進め方等について （於：（公財）都道府県会館403号室）
平成26年 10月14日	第1回専門部会B	1 これまでの意見を受けての修正（案）について 2 教育遺産の価値付けの整理（案）について

平成 26 年 11 月 5 日	事務連絡会議	1 日本遺産認定に向けた取組について (於：茨城県東京事務所会議室)
平成 26 年 11 月 8 日	教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム 2014	1 記念講演 ・「学びから創り出される人々の結びつきとその特徴 ロバートキャンベル氏」 2 基調講演 ・「江戸の文化と教育力 大石 学氏」 3 パネルディスカッション ・「江戸の学びと文化 –その国際性と地域性–」 ※参加者数 620 名 (於：パトリア日田大ホール)
平成 26 年 11 月 20 日	事務連絡会議 (※ 4 県 4 市)	1 日本遺産認定に向けた取組について (於：文部科学省内会議室)
平成 26 年 11 月 28 日	3 会頭による備前市長表敬訪問	水戸商工会議所会頭・足利商工会議所会頭・日田商工会議所会頭が吉村備前市長を訪問し、意見交換を行った。 (於：備前市市長室)
平成 26 年 12 月 19 日	事務連絡会議 (※ 4 県 4 市)	1 日本遺産認定に向けたストーリー（案）等について (於：文部科学省内会議室)
平成 27 年 1 月 28 日	事務連絡会議	1 日本遺産の認定について (於：東京国際フォーラム G 棟 509 号室)
平成 27 年 1 月 28 日	専門部会 A・B・C 合同会議	1 世界遺産登録推進に関する諸事業の経緯と意見について 2 日本遺産認定申請への取組と課題について (於：東京国際フォーラム G 棟 509 号室)

※ 1 専門部会 B（10 月 14 日）の様子



専門部会 B（平成 26 年 10 月 14 日）

※2 教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム2014（11月8日開催）の様子



記者会見（於：咸宜園）



パネルディスカッション（於：パトリア日田）

**日時** 平成26年11月8日(土)  
13:00～16:30（開場12:30）

**会場** パトリア日田大ホール  
(大分県日田市三本松一丁目8番11号 TEL 0973-25-5000)

**記念講演** ロバート キャンベル 氏 (東京大学大学院教授)  
「学びから創り出される人々の結びつきとその特長」  
－江戸時代の藩校と私塾をふり返り、今を考えるために－

**基調講演** 大石 学 氏 (東京学芸大学教授)  
「江戸の文化と教育力」  
－「平和」と「文明化」265年の基盤－

**パネルディスカッション**  
「江戸の学びと文化」  
－その国際性と地域性－

**パネリスト**  
榎山 紘一 氏 (印刷博物館館長)  
大石 学 氏 (東京学芸大学教授)  
橋本 昭彦 氏 (国立教育政策研究所総括研究官)

**コメンテーター**  
藤原 惠洋 氏 (九州大学大学院教授)  
ロバート キャンベル 氏 (東京大学大学院教授)

**コーディネーター**  
後藤 宗俊 氏 (咸宜園教育研究センター名譽館長)

教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム2014

# 江戸の学びと文化

入場無料

**【お問合せ】 日田市教育庁 世界遺産推進室(咸宜園教育研究センター内)**  
TEL 0973-22-0268

- ◆主催：日田市、日田市教育委員会、教育遺産世界遺産登録推進国際シンポジウム実行委員会
- ◆共催：水戸市、足利市、水戸市教育委員会、足利市教育委員会
- ◆後援：文化庁、日本イコモス国内委員会、日田商工会議所、水戸商工会議所、足利商工会議所、大分県、大分県教育委員会、茨城県、茨城県教育委員会、栃木県、栃木県教育委員会、公益財団法人日本教育公報興弘済会大分支部、朝日新聞社、大分合同新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞高知本社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、KCVコミュニケーションズ
- ◆協力：公益財団法人廣瀬資料館

※この事業は、「まぐろ」の社会貢献活動として助成を受けて実施するものです。

国際シンポジウム2014 チラシ

## 平成 26 年度教育遺産世界遺産登録推進協議会予算

教育遺産世界遺産登録推進協議会予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第 1 条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 5,474 千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「別表歳入歳出予算」による。

(歳出予算の流用)

第 2 条 歳出予算に計上した予算額に過不足を生じた場合、款相互の金額は必要に応じて流用することができる。

### 別表 歳入歳出予算

歳 入

(単位 千円)

款	項	金 額
1 負担金	1 負担金	3,576
2 繰越金	1 繰越金	1,109
3 諸収入	1 諸収入	789
歳 入 合 計		5,474

歳 出

(単位 千円)

款	項	金 額
1 運営費	1 運営費	5,473
2 予備費	1 予備費	1
歳 出 合 計		5,474

歳入歳出事項別明細書

歳 入

(款) 1 負担金 (項) 1 負担金 (単位 千円)

目	金額	節		説明欄			
		区分	金額	※括弧内は平成22年国勢調査人口	均等割 (50%)	人口割 (50%)	
1 負担金	3,576	1 市負担金	3,576	水戸市 (268,750人)	1,569	596	973
				足利市 (154,530人)	1,156	596	560
				日田市 (70,940人)	851	596	255
計	3,576			計	3,576	1,788	1,788

(款) 2 繰越金 (項) 1 繰越金 (単位 千円)

目	金額	節		説明欄
		区分	金額	
1 繰越金	1,109	1 繰越金	1,109	
計	1,109			

(款) 3 諸収入 (項) 1 諸収入 (単位 千円)

目	金額	節		説明欄
		区分	金額	
1 諸収入	789	1 預金利子	1	預金利子
		2 雑入	788	国際シンポジウム実行委員会返還金
計	789			

## 歳 出

(款) 1 運営費 (項) 1 運営費 (単位 千円)

目	金額	節		説明欄
		区分	金額	
1 事業費	5,237	8 報償費	460	謝礼
		9 旅費	1,405	費用弁償
		11 需用費	64	食糧費
		13 委託料	756	普及啓発物品委託, 自動翻訳システム委託
		14 使用料及び賃借料	432	会場借上料
		19 負担金補助及び交付金	2,120	国際シンポジウム補助金
2 事務費	236	11 需用費	169	消耗品費, 食糧費, 印刷製本費
		12 役務費	67	通信運搬費, 振込手数料
計	5,473			

(款) 2 予備費 (項) 1 予備費 (単位 千円)

目	金額	節		説明欄
		区分	金額	
1 予備費	1	1 予備費	1	
計	1			



## 協議第 1 号

# 今後の世界遺産登録・日本遺産認定に向けた取組について

### 1 国の動向

文化庁においては、文化財を活用した地方創生、クールジャパン戦略の一環として、来年度新たに、世界遺産登録を目指す物件等を対象とし、歴史的な魅力に溢れた文化財群を地域的なつながりや時代的な特徴ごとにまとめて、官民協働のもと、海外に発信していく日本遺産の認定事業を創設することとしています。

※ 平成 27 年度認定件数 15 件程度 平成 27 年度国の予算案 801,000 千円  
事業内容 情報発信・人材育成事業、普及啓発事業、公開活用のための整備に係る事業

### 2 推進協議会の活動状況

検討状況報告書（素案）の熟度を高めるため、専門部会や国際シンポジウムの開催等を通じた調査研究を進めています。また、日本現存最古の庶民学校・閑谷学校の所在地・岡山県備前市の参画に向け、事務局レベルの交流や情報交換を重ねています。

こうした状況の中で、昨年 11 月に開催された国際シンポジウム（於：日田市）の中で、備前市の参画に向けた取組を継続し、日本遺産への認定も視野に入れた活動を共同して進める旨、3 市長が合意に至ったところです。

### 3 日本遺産認定に向けた取組状況

#### (1) テーマ：「世界に誇る日本の教育」

日本では、近代教育制度の導入前から、支配層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き、算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示しました。

これは、弘道館、足利学校、閑谷学校、咸宜園など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、日本が非西欧社会の中でいち早く近代化を達成した大きな原動力となり、現代においても勤勉で礼節を重んじる国民性として継承されています。

#### (2) 期待できる効果

国の財政支援を受けながら、文化財群の国際的な知名度を高めるとともに、郷土愛を醸成するなど、観光や教育の振興、地域のブランド力の向上を図ることができます。また、教育遺産の世界遺産登録に向けた機運の醸成につながり、大きな後押しとなります。

### 4 今後の進め方

4 県 4 市の広域連携のもと、世界遺産登録・日本遺産認定に向けた取組を推進していきます。